



第63期 報告書

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで



CONTENTS

P1～P2 株主の皆様へ

P3 販売品目

P4 連結財務諸表

P5 会社データ

P6 株式情報

清和中央ホールディングス

株主の皆様へ

存在感ある鉄鋼流通企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努めます。



平成29年3月

代表取締役社長

阪上 正章

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第63期（平成28年1月1日から平成28年12月31日まで）の決算が終了しましたので、その概況をとりまとめ、ここに「第63期報告書」をお届け申し上げます。

株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

当期の事業環境及び成果について

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境は良好な状態が継続しているものの、企業の設備投資は年間をとおして足踏み状態が続き、日銀のマイナス金利導入等の金融緩和政策も市場インパクトに乏しく、依然、個人消費に力強さが見られない状況が続く中、米国大統領選挙以降、円高の是正、株価の回復等を背景に、年終盤にかけて一部に回復の兆しも見られました。一方、国際経済は、英国のEU離脱問題や米国大統領選挙のトランプショックによる不安感もありましたが大きな混乱には至らず、米国は個人消費等を中心に回復基調を維持し、欧州も緩やかな回復基調が続きました。また、停滞を続けていた中国や新興国、資源国にも年終盤にはやや回復の動きが見られる様になりましたが、中東情勢の不安定化が世界経済に与える影響も懸念される状況となりました。

鉄鋼業界におきましては、年初は国内鋼材需要が底堅く推移する中、鉄鋼市況の反転が期待されながら年央にかけて足踏み状態が続きました。その後、第3四半期に入り、中国の炭鉱操業日数規制や豪雨による石炭生産への影響、米国炭の供給余力の消失に加え、豪州炭鉱における操業トラブル等による急速な供給懸念から原料炭価格が急騰する展開となり、高炉メーカーの原料調達がタイトとなる中、徐々にスクラップ価格も上昇し、年終盤にかけて鉄鋼製品価格も上昇する展開となりました。

このような経営環境下において、当社グループは一層の収益重視姿勢を高め、仕入面においては在庫量の適正化に注力、販売面においては販売量の確保と販売価格の設定に重点を置き、きめ細かく営業活動を展開してまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は、417億85百万円(前年同期比14.8%減)、営業利益は9億31百万円(前年同期比12.9%増)、経常利益は10億15百万円(前年同期比12.9%増)、法人税等を差引いた親会社株主に帰属する当期純利益は、6億80百万円(前年同期比14.1%増)となりました。

今後の課題について

わが国経済の見通しは、良好な雇用環境の維持と働き方改革の取り組みによる所得環境の改善や各種政策効果による緩やかな回復が期待されます。ただ、米国の金融政策の正常化の進展が期待される中、米国大統領交代による政策リスクと中東情勢の不安定化による海外景気の下振れ懸念は、わが国の景気を下押しするリスクとなります。

鉄鋼業界におきましては、総じて安定した需要環境が続くと思われませんが、人手不足による工事遅延リスクの改善は課題を残すものと思われまます。

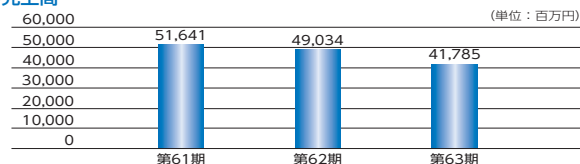
一方、鋼材価格については、値上がり基調は前半にピークを迎え、その後は調整局面となると予想されますが、極端な下振れとなるリスクは低いと思われるものの、為替の動向が国内鋼材価格の適正化に大きく影響するリスクがあります。

当社グループといたしましては、かかる環境に対応すべくさらに収益重視の姿勢を堅持、経営基盤を強化し存在感ある企業を目指します。

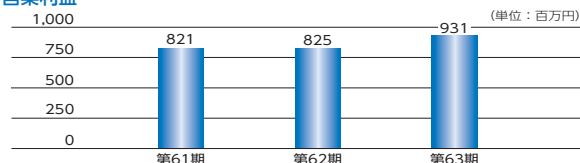
- ① 為替動向に留意し、鉄鋼市況の国際的変動に素早く対応すべく、短期対応でのきめ細かい在庫調整に努めます。
- ② 取引先のニーズを的確に把握して、「必要なときに」「必要なものを」「必要な量だけ」を迅速かつ確実に提供するためのきめ細かく柔軟な営業体制の充実に注力し、既存取引先におけるシェアアップ、新規取引先の拡大を図ります。
- ③ 運賃・荷役費用等の合理化を推進し、一層のコスト削減を図ります。
- ④ 与信管理を徹底し、不良債権の発生を未然に防止するように努めます。
- ⑤ 企業の成長維持のために、次世代を担う人材の育成に力を入れ、戦力強化に努めます。

連結財務ハイライト

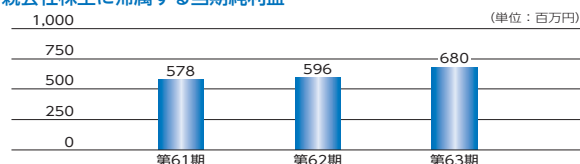
●売上高



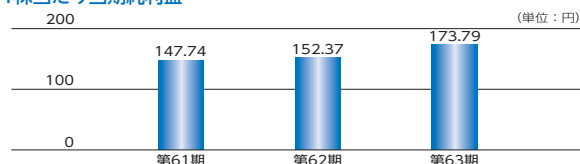
●営業利益



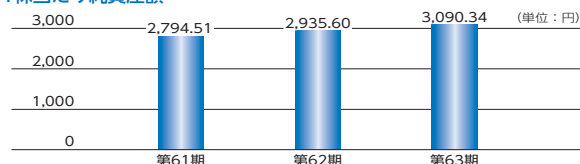
●親会社株主に帰属する当期純利益



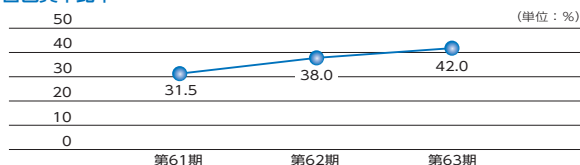
●1株当たり当期純利益



●1株当たり純資産額



●自己資本比率



各種鋼材の供給から多種多彩な加工まで



H形鋼



カラーC形鋼



鋼板



コラム



平鋼



軽量H形鋼



異形棒鋼



構造用鋼



特殊鋼



山形鋼



溝形鋼



レール



溶断



開先機



切断機

鉄鋼製品

H形鋼	H形鋼 外法一定H形鋼 極厚H形鋼 ビルドH形鋼
一般形鋼	等辺山形鋼 不等辺山形鋼 溝形鋼 I形鋼 レール
平・角鋼	平鋼 ワイドフラット カバープレート 角鋼
鋼板	薄板 中板 厚板 高張力鋼板 冷延鋼板 表面処理鋼板 亜鉛鋼板 縞鋼板 酸洗鋼板 SC鋼板 エキスパンドメタル パンチングメタル アルミニウム
軽量形鋼	C形鋼 (カラー・メッキ・黒皮) DP・KP (カラー・メッキ・黒皮) 合成床板 軽量H形鋼 軽量溝形鋼
鋼管	コラム 丸パイプ 角パイプ (カラー・メッキ・黒皮)
鉄筋	異形棒鋼 伸鉄丸鋼
構造用鋼	普通鋼 特殊鋼 (SC・SCM) 非調質強靱鋼 CH材 磨棒鋼 (丸・平・角) パーインコイル
ステンレス	鋼板 丸鋼 平鋼 形鋼 パイプ

加工

H形鋼寸法切り コラム寸法切り 開先加工 構造用丸鋼寸法切り 曲げ加工 メッキ加工 切板 鍛造 機械加工 製缶加工
プラント製造 鉄骨梁加工 その他

工事関係

鉄骨工事 鉄筋工事 ALC工事 建築工事全般

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

〔連結貸借対照表〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 平成27年12月31日現在	当期 平成28年12月31日現在
資産の部		
流動資産	21,059	19,783
固定資産	9,178	9,006
有形固定資産	7,214	7,085
無形固定資産	95	76
投資その他の資産	1,868	1,844
資産合計	30,237	28,789
負債の部		
流動負債	16,543	14,774
固定負債	2,002	1,709
負債合計	18,545	16,483
純資産の部		
株主資本	10,858	11,461
資本金	735	735
資本剰余金	601	601
利益剰余金	9,547	10,149
自己株式	△26	△26
その他の包括利益累計額	635	639
その他有価証券評価差額金	635	639
非支配株主持分	197	204
純資産合計	11,691	12,305
負債及び純資産合計	30,237	28,789

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〔連結損益計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで)	当期 (平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで)
売上高	49,034	41,785
売上原価	44,653	37,288
売上総利益	4,380	4,497
販売費及び一般管理費	3,555	3,565
営業利益	825	931
営業外収益	129	113
営業外費用	55	29
経常利益	899	1,015
税金等調整前当期純利益	899	1,015
法人税、住民税及び事業税	375	437
法人税等調整額	△81	△112
当期純利益	605	690
非支配株主に帰属する当期純利益	9	10
親会社株主に帰属する当期純利益	596	680

〔連結キャッシュ・フロー計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで)	当期 (平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,483	1,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	18	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,538	△1,898
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△36	△568
現金及び現金同等物の期首残高	1,519	1,483
現金及び現金同等物の期末残高	1,483	914

【会社概要】

(平成28年12月31日現在)

商号 清和中央ホールディングス株式会社
 本社 大阪市西区九条南三丁目1番20号
 設立 昭和29年3月
 資本金 7億3,580万円
 従業員数 11名 (連結従業員数：189名)

主要な事業内容 当社グループは、当社および子会社6社で構成され、鋼材の卸売を主な事業内容としており、当事業に関連する加工、請負工事、荷役業務、さらに不動産賃貸事業も行っております。

【役員】

(平成28年12月31日現在)

代表取締役社長 阪上正章
 常務取締役 阪上恵昭 管理本部長
 取締役 西本雅昭 管理本部副本部長
 取締役 後藤信三
 常勤監査役 上山公
 監査役 杉本武 税理士
 監査役 岸保典

- (注) 1. 監査役上山公、杉本武、岸保典の3氏は、社外監査役であります。
 2. 監査役上山公氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。
 3. 監査役杉本武氏は、税理士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。

【清和中央ホールディングス組織図】



■ 連結子会社

清和鋼業株式会社
 〒550-0025 大阪市西区九条南3-1-20 TEL：06-6581-2131
 中央鋼材株式会社
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-10-9 TEL：03-6891-4800
 大宝鋼材株式会社
 〒550-0025 大阪市西区九条南3-28-23 TEL：06-6581-2205
 清和サービス株式会社
 〒590-0901 堺市堺区築港八幡町1-29 TEL：072-232-7300

■ 非連結子会社

サンワ鋼材株式会社
 〒306-0204 茨城県古河市下大野2000 TEL：0280-92-2111
 北進鋼材株式会社
 〒340-0813 埼玉県八潮市木曾根1212-3 TEL：048-999-7373

【株式情報】 (平成28年12月31日現在)

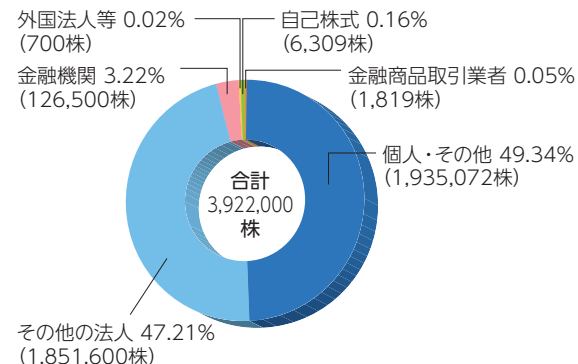
- 1) 発行可能株式総数 12,000,000株
- 2) 発行済株式の総数 3,922,000株
- 3) 株主数 248名
- 4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
株式会社ワイエムピー	530,500 株	13.55 %
エスケー興産株式会社	495,800	12.66
阪上 正章	440,680	11.25
阪上 恵昭	281,700	7.19
阪上 寿美子	248,600	6.35
大和製罐株式会社	223,500	5.71
山口 久一	214,800	5.49
加藤 匡子	115,700	2.95
小田 宏雄	104,300	2.66
山口興産株式会社	100,500	2.57

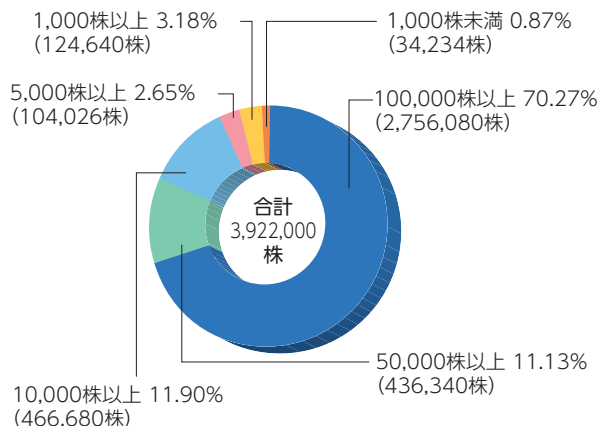
(注) 持株比率は自己株式 (6,309株) を控除して計算しております。

【株式分布状況】 (平成28年12月31日現在)

■ 所有者別株式分布状況



■ 所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日

毎年12月31日

中間配当金受領株主確定日

毎年6月30日（中間配当を実施する場合）

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）

上場証券取引所

東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）

公告の方法

電子公告

公告掲載URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>

（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

トップページ



IR情報

